

問 デジタル・ディバイドの解消策は

答 気軽に相談できるブースを設置



新政とうかい
おち 越智 たつや 辰哉 議員

問 行政サービスのデジタル化を推進しているが、デジタル・ディバイド（情報格差）解消への取組は。

答 令和元年度から中央公民館で「スマホ講座」を開催している。今後は携帯電話事業者や社会福祉協議会と連携し、集会所や役場、小売店舗スペース等でもスマホ講座や体験会、気軽に相談できるブースの設置等を官民共創で取り組んでいく。

問 新たな事業展開の際には、必ず住民向けのサポートをセットで実施すべき。また、役

場全体でデジタル・ディバイド解消に取り組む姿勢が必要では。

答 オンライン申請等は、整備するだけでなく窓口での申請方法の案内やパソコンの設置等利用しやすい環境を作っていく。村が進めるデジタル化推進にと

まどいを感じる方が多いことから、役場内にデジタル・ディバイド施策を部門横断的に取り組んでいくチームを編成した。スマホ講座や体験会の評価・改善や新たなスマホ利用者の底上げを図る仕組みを検討していく。



高齢者に大人気のスマホ講座

問 スムーズなワクチン接種を

答 予約受付は年代別段階的に実施



新政とうかい
ささしま じろう 笹嶋 士郎 議員

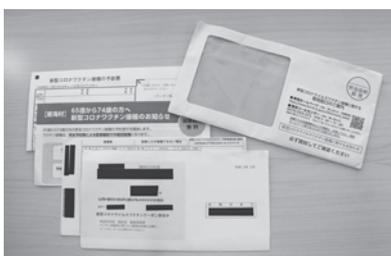
問 75歳以上の新型コロナウイルスワクチン接種は5月25日から予約を、5月31日から接種を開始した。村より先に実施している自治体では、電話予約など混乱が生じている。苦情、混乱はなかったか。またワクチンのキャンセルの対応はどうか。

答 コールセンターが繋がりにくくなったが、高齢者の冷静な対応により、特に大きなトラブルは生じなかった。キャンセルが発生した場合、保育士・幼稚園教諭及び学童クラブの従事者に、優先的に

キャンセル枠を充てて実施している。

問 貴重なワクチンをキャンセルで廃棄しないために保育士等に加え、役場やコミセンなど公共施設の職員をキャンセル枠に加えてはどうか。また、64歳以下の接種は、どう進めるのか。

答 急なキャンセルにも対応するため新たな補充員を準備しておく必要がある。近隣自治体を参考に検討する。64歳以下は、対象者が多いことから予約受付は年代別段階的な実施を考えている。



新型コロナウイルスワクチン接種券